

# 例【社会・中1・武士の台頭と鎌倉幕府】①

## 育成を目指す資質・能力（単元）

- （知識・技能） 鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。
- （思・判・表） 武士の政治への進出と展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアとの交流までについて、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。
- （学びに向かう力等） 中世の日本に関わる所事象について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

## ICT活用のポイント

考えのスピーディーな視覚的共有と表現力の向上を意識した授業

### 【つかむ】

為政者の変化に興味をもち、学習の見通しをもつ

武士の政治は、どのような特色をもっていたのだろうか？

### 【追究する】

天皇や貴族の政治との違いに着目し、比較し、武家政権の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。

### 【まとめる】

時代の特色を「政治」「産業」「社会」「文化」の側面から考察し、根拠を明らかにして表現し、発表する。

## 事例の概要

- Xチャートに、貴族の政治に対して、「天皇」「貴族」「武士」「民衆」が考えたことを記入し、写真で撮影する。
- Xチャートを学習支援ソフトを通して提出し、全体で共有しながら自分の考えをまとめる。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- クラゲチャートを用いて、天皇や貴族の政治と武士の政治の特色をまとめ、学習支援ソフトを通して提出し、共通点や相違点を比較する。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- Xチャートを用いて、それぞれの側面での変化を記入し、写真で撮影する。
- 自身が撮影したXチャートを学習支援ソフトを通して提出し、全体で共有しながら発表し、比較する。

# 例【社会・中1・武士の台頭と鎌倉幕府】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】

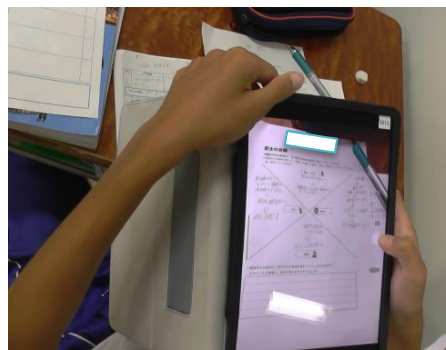


写真1

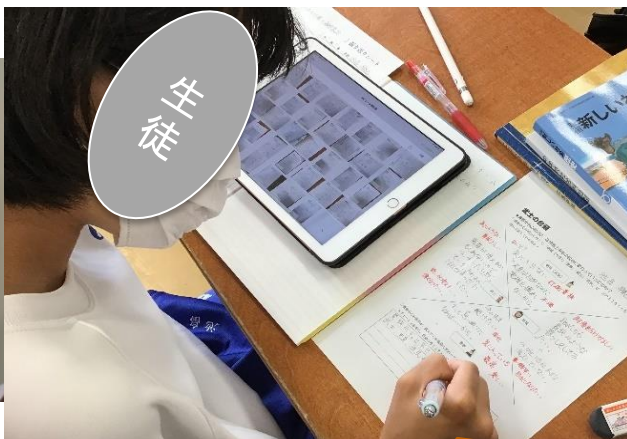
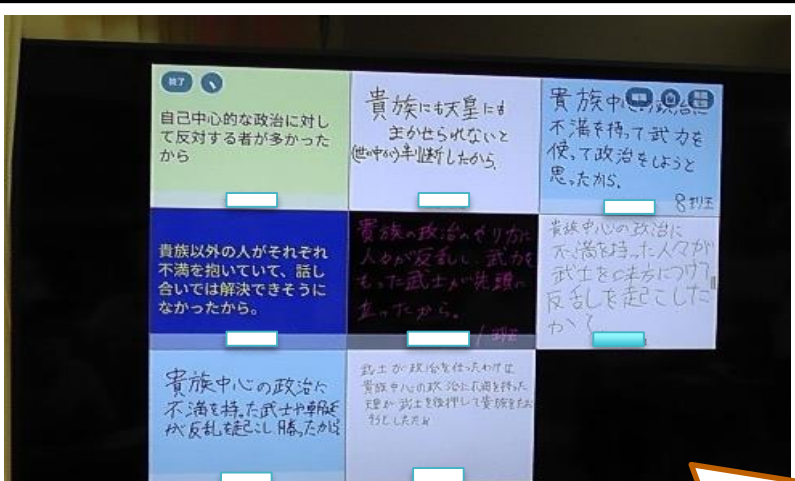


写真2

考えを共有する場面では、生徒がワークシートを撮影した写真を学習支援ソフトに提出させ、互いの考えを視覚的に共有した。写真1の生徒は、ワークシートを撮影し、提出しようとしている。写真2の生徒は、提出されたワークシートを見て、自分の考えと比較し、同じ考えには青の下線を引き、別生徒の考えから気付いた関連性を赤ペンで付け加えている。文章だけでなく図も用いて表現している。このように、生徒は、より短時間かつ一目で多様な考えに触れることができ、考えを深めることができていた。

多様な考えに一目で触れ、短時間で自分の考えと比較・関連付けができるようになり、本時の課題に対する考察を深める時間を確保することができる。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



考察を学習支援ソフトを通して班の友達に送らせ、それぞれの考えを共有した。根拠となる資料を提示しながら話し合わせ、本時の課題に対する考察を要約してまとめた。班でまとめたものを提出させ、全体で視覚的に意見共有を行った。教師が、見えた考えの共通点を引き出し、下線を引いたり丸で囲んだりすることで、学びを視覚化してまとめにつなげさせていた。

班で整理した考えを、根拠をもとに伝え合うことによって、表現力を高めることができ、多面的・多角的に考察することができる。

### 【活用したソフトや機能】

- ・プレゼンテーションソフト
- ・カメラ  
写真・動画撮影  
情報収集やデータ交換  
映像確認
- ・学習支援ソフト